



配給：ザジフィルムズ ©2019, Vivo Film -tutti i diritti riservati

ダフネが教えてくれる。大事なのは、自分を好きになること。人を信じること。ダフネは快活で社交的なダウン症の女性。スーパーで働きながら、母マリア、父ルイジと平穏に暮らしていた。しかし母に突然の死が訪れ生活が一変。父は不安に苛まれてふさぎ込んでしまう。

監督はデビュー作がロカルノ国際映画祭で3部門を受賞したフェデリコ・ボンディ。本作はベルリン国際映画祭パノラマ部門で国際批評家連盟賞を受賞。監督がSNS上で見出した主演のカロリーナ・ラスパンティのチャーミングでシニカルな**自然体の演技が観客を瞬く間に魅了。**

静謐な風景の中を往く父と娘。軽やかなユーモアに彩られた**トスカーナの旅が愛する家族の死を乗り越え、互いを理解し合う、かけがえのないものになっていく…。**

「わたしはダフネ」

①9:30~11:04 ②13:40~15:14

「盗まれたカラヴァッジョ」

①11:25~13:21 ②15:35~17:31

※各回10分前より入場開始

2023. 1. 7(土) ~ 1. 9(月祝) 新潟県民会館小ホール 料金：1 作品500円

映画プロデューサーの秘書のヴァレリアは、実は人気脚本家アレッサンドロのゴーストライター。ある日謎の男から、世界を驚愕させたカラヴァッジョの名画盗難事件の真相を聞かされる。それをプロットにまとめると、すぐに映画化が決まった。シナリオを書き進めると、マフィアによる恐るべきトラブルに巻き込まれることに。

ヒューマンドラマとサスペンスを鮮やかに融合させ、数々の賞を受賞してきた名匠ロベルト・アンドーが、**1969年に起きた実在の未解決事件に、マフィアが関わっていたという大胆な構想で書き上げた。**アレッサンドロ・ガスマンはじめ、イタリアの人気俳優をそろえ、**第75回ヴェネチア国際映画祭で絶賛された危険で豪華な極上サスペンス。**

※PG12作品です。12歳以下の方には保護者の助言、指導が必要です。



配給：サンリス ©2018 Bibi Film -Agat Film & Cie